

内燃力発電所の設置（別表第2）の工事計画書の記載例

○内燃機関

工事計画書

一般記載事項	発電所の名称		○○株式会社 ○○工場内燃力発電所			
	発電所の位置		○○県 ○○市 ○町 ○番地			
	出力		○○ kW（○○kW×○台）			
	周波数		○○Hz			
			第1号機（設備番号）	第2号機		
火力設備	内燃機関	種類		○サイクル ○気筒○○エンジン ボア○○mm ストローク○○mm		
		出力		○○ kW		
		回転速度		○○ min ⁻¹		
		燃料	燃料の種類	○○油		
			発熱量	○○ MJ/kg		
			硫黄分	○○ %		
			窒素分	○○ %		
			灰分	○○ %		
			使用量	○○ l/h		
		排出ガス量		○○ m ³ N/h（湿り） ○○ m ³ N/h（乾き）		
		ばい煙量		硫黄酸化物 ○○ m ³ N/h 窒素酸化物 ○○ m ³ N/h ばいじん ○○ kg/h		
		ばい煙濃度 （O ₂ =○%換算）		硫黄酸化物 ○○ ppm 窒素酸化物 ○○ ppm ばいじん ○○ mg/m ³ N		
		调速装置の種類		○○式调速機（機械式）		
		非常调速装置の種類		○○式非常调速機		
	冷却水設備の容量		○○ポンプ ○○ m ³ /h 冷却水タンク ○○ l/h			
	空気圧縮設備	空気だめ	種類		○○鋼板○○形	
			容量		○○ l	
			最高使用圧力		○○ MPa	
			主要寸法	胴の内径	○○ mm	
				胴板の厚さ	○○ mm	
鏡板の厚さ				○○ mm		

同
左

火力設備	内燃機関	空気圧縮設備	材料	胴		SPV〇〇 (JIS〇〇)		
				鏡板		SPV〇〇 (JIS〇〇)		
				個数		常用〇個、予備〇個		
			空気だめ弁の	種類	〇〇式安全弁			
				吹出圧力	〇〇 MPa			
				吹出量	〇〇 kg/h			
				個数	〇個 (空気だめ毎)			
				取付箇所	空気だめ〇〇部			
			空気圧縮機	種類	〇〇式			
				容量	〇〇 m ³ /h			
				吐出圧力	〇〇 MPa			
				個数	〇 個			
			煙突	種類		〇〇鋼板製		
				出口ガス速度		〇〇 m/s		
		出口ガス温度		〇〇 °C				
		口径		〇〇 mm				
		地表上の高さ		〇〇 m				
		有効高さ		〇〇 m				
		個数		〇 個				
		ばい処理設備	種類		〇〇式集塵機			
			容量		〇〇 m ³ N/h			
					入口	出口		
			ばい煙量	硫黄酸化物 (m ³ N/h)		〇〇	〇〇	
				窒素酸化物 (m ³ N/h)		〇〇	〇〇	
				ばいじん (kg/h)		〇〇	〇〇	
			ばい煙濃度	硫黄酸化物 (ppm)		〇〇	〇〇	
				窒素酸化物 (ppm)		〇〇	〇〇	
				ばいじん (mg/m ³ N)		〇〇	〇〇	
			ガス温度		°C		〇〇	〇〇
			アンモニアの注入量 及び 注入により発生するばいじんに係るばい煙濃度		該当なし			
ばい附煙属処理設備に	空圧縮機		種類	〇〇形圧縮機				
			容量	〇〇m ³ /h (〇〇kW)				
			個数	〇 個				
	通風機		種類	該当なし				
			容量					
		個数						
	破碎機	種類	該当なし					
		容量						
		個数						

同
左

火力設備	内燃機関		摩 碎 機	種類	該当なし	同 左
				容量		
				個数		
		内燃機関の基本設計方針		ディーゼル機関出力は周囲温度〇〇℃、高度（海拔）〇〇m、空気冷却器温度〇〇℃にて発電端で〇〇kWとなるようにする。		
	適用基準及び適用規格		(1) 発電用火力設備に関する技術基準を定める省令及び解釈 (2) J I S B 〇〇 (3) J E A C 〇〇 等			
	燃料設備	油 タ ン ク	種 類		※ 発電所専用の場合のみ記載すること。 〇〇製〇〇形貯油槽	
容 量			〇〇〇 m ³			
個 数			〇 個			

○電気設備

電気設備	発電機			第 1 号機（設備番号）	第 2 号機
		種 類		〇〇形〇〇発電機	同 左
		容 量		〇〇〇〇 kVA	
		力 率		〇〇 %	
		電 圧		〇〇 KV	
		相		三 相	
		周 波 数		5 0 Hz	
		回転速度		〇〇〇 min ⁻¹	
		結 線 法		星形結線	
		冷 却 法		〇〇冷却	
		発電電動機の場合は出力		該当なし	
		励磁装置	種 類	〇〇 方式	
			容 量	〇〇 kVA	
			回転速度	〇〇〇 min ⁻¹	
			駆動方法	〇〇	
			個 数	〇 個	

			第一号機（設備番号）	第2号機	
電 気 設 備		保護継電装置の 種類	〇〇継電器 〇〇継電器 	同 左	
		原動機との連結方法	直 結		
	変 圧 器	種 類	連続定格屋外用		
		容 量	〇〇〇〇 kVA		
		電 圧	一 次		〇〇 KV
			二 次		〇〇 KV
		相	3 相		
		周 波 数	5 0 Hz		
		結 線 法	一 次		三角形
			二 次		星形
	冷 却 法	油入〇〇式			
	保護継電装置の 種類	〇〇継電器 〇〇継電器 			
	電 圧 調 整 器 又 は 電 圧 位 相 調 整 器		該当なし		
	調 相 機		該当なし		
	電力用コンデンサー		該当なし		
	分路リアクトル又は 限 流 リ ア ク ト ル		該当なし		
	周波数変換機器又は 整 流 機 器		該当なし		
	遮 断 器	種 類	〇〇遮断器	同 左	
		電 圧	〇〇 KV		
		電 流	〇〇 A		
遮断電流		〇〇 kA			
遮断時間		〇 サイクル			
保護継電装置の 種類		〇〇継電器 〇〇継電器 			
蓄 電 池		該当なし			
逆 変 換 装 置		該当なし			
附 帯 設 備	発電所の運転を管理す るための制御方式		〇〇監視制御方式		
	非常用予備発電装置		該当なし		